

東日本大震災によって公共交通機関も壊滅的な被害を受けた地域は、基本的には少子高齢化・人口減少が急激に進んでいることも踏まえ、トヨタ自動車及び日産自動車の協力のもと、全国乗用自動車連合会とも連携し、当該地域で新しいユニバーサルデザインタクシー(UDタクシー)やバリアフリー対応乗合タクシーを運行し、被災地における移動手段の確保等に貢献しつつ、バリアフリー車両の意義や効果を確認するとともに、これら新しいバリアフリー車両の今後の普及に活かす。

事業スキーム

- ※1 学識経験者、全乗連等がメンバー。
(自動車メーカーがオブザーバー。)
- ※2 全国乗用自動車連合会
- ※3 福祉車両の被災状況、地域公共交通調査事業費の活用可否等を踏まえ、国が総合的に判断し、指定する。

乗合タクシー

検討会の結果を踏まえ
国が指定^{※3}する市町村

- 乗合タクシーの所有及び運行委託
- アンケート調査等の実施
- 運行データの取得等

検討会(仮)^{※1}

(国主催、全乗連^{※2}事務局)

- 事業実施タクシー事業者等の選定
- アンケート調査等のとりまとめ、評価等

調査期間
1年程度

調査結果等のフィードバック

普及促進

UDタクシー

検討会の結果を踏まえ
国が指定する
タクシー事業者等

- UDタクシーの運行
- アンケート調査等の実施
- 運行データの取得等

アンケート
結果、取得
データの提出

国土交通省

車両の無償提供等による協力

トヨタ自動車

- バリアフリー対応乗合タクシーの提供【2両】



日産自動車

- UDタクシーの提供【10両】



トヨタ自動車から提供されるバリアフリー対応乗合タクシー



乗降しやすいように
設置された手すり

乗降しやすい
補助ステップ

乗降口



乗合タクシー

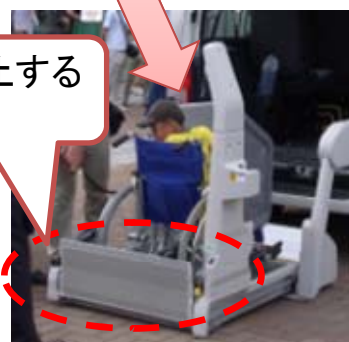
車いす乗降リフト



標準的な車いすで
利用可能なサイズ

使用中

落下を防止する
機構



容易に移動
できる十分
な車内空間

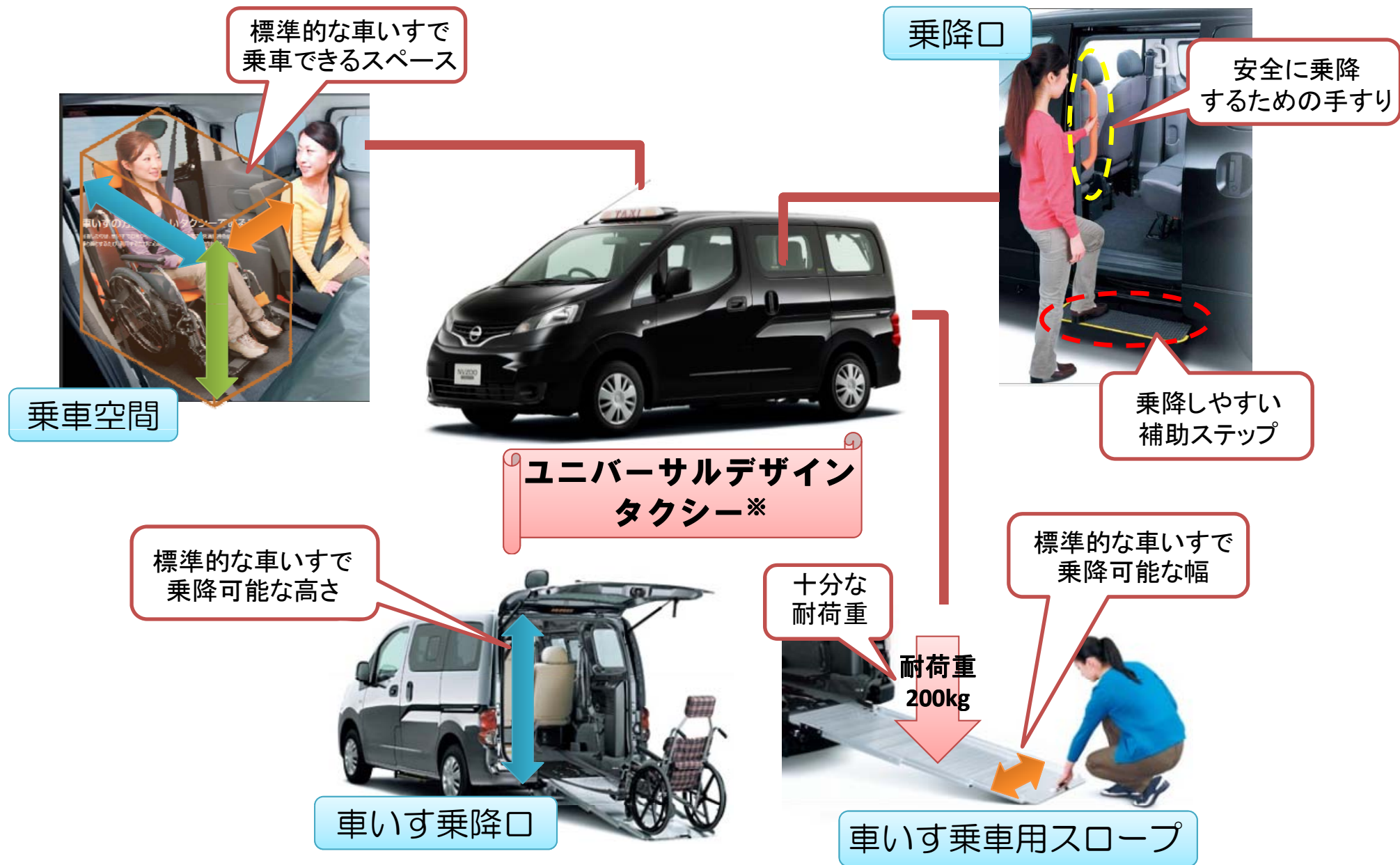


立ち座りしやすいように2席
ごとに配置された手すり



車内

日産自動車から提供されるユニバーサルデザインタクシー



写真：日産自動車ホームページ、パンフレット等より

※ 流し営業にも活用されることを想定し、身体障害者のほか、高齢者や妊産婦、子供連れの人等、様々な人が利用できる構造となっているタクシー車両